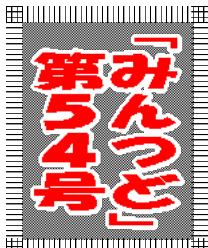
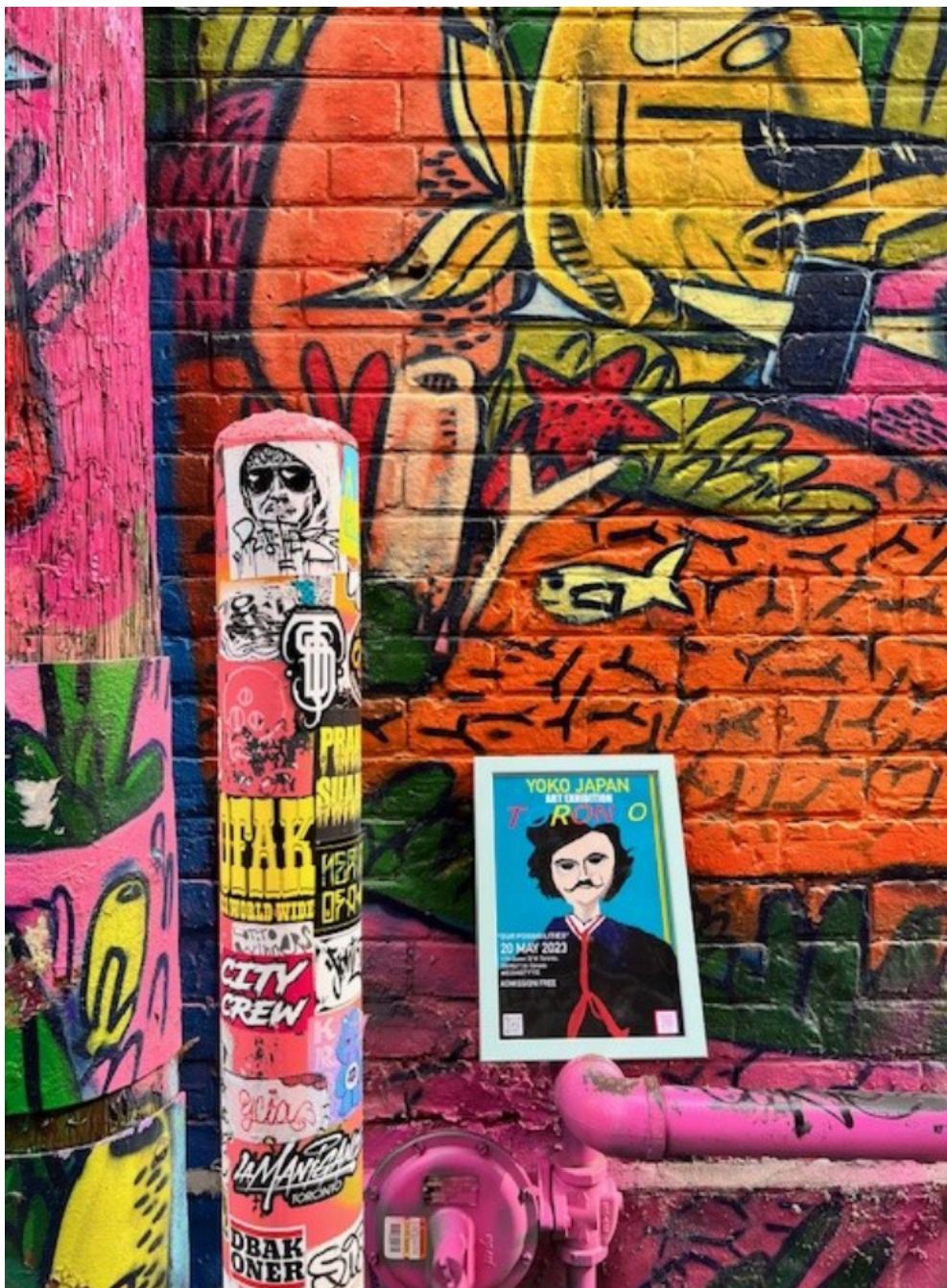


こんにちは、こんばんは、おはようございます。そして明けましておめでとうございます。心に風邪を引いたワタシも、そうでないアナタも、みんながつどえるミニコミ誌『みんつど』のお時間です。編集長の天地成行（てんち・なりゆき）です。54号を迎えました。今回のトピックは東京や下関市からの寄稿特集です。全



体的に写真には、看護師とアーティストの"二刀流" 池見陽子さんを抜擢。連載で使うはずだったものをお送りします。オープニングアクトは、一人三役脳内会話「天地成行あり方委員会」。Cさんがなんだか年始から情緒が不安定。その秘密は例の元旦のニュースのようです。4ページの今号。はじまりー。



# 今年もヘンテコ! 一人三役脳内会話「天地成行あり方委員会」

(ナレーション)

普段、言いたい放題の

落ち込んでいる天地成行

見守っている天地成行A

さん。2026年が始まつ

がの僕の専売特許をとら

暴れ者・天地成行Cさん  
が、ずすずーんと年始から  
落ち込んでいる。普段、

Bさんがそつと見守つて  
いる。どう声をかけよう  
かと寄り添おうとしてい  
る。普段、二人を優しく

見守っている天地成行A  
さんが、やはり二人の様  
子をうかがう。

さん。2026年が始まつ  
てもう一月が終わろうと  
しているよ。元旦からずすーん  
と部屋の隅で体育座りし  
て、ため息ばかり。さす

れてしまうとまいっちゃん  
う。どうしたんだよう。  
そろそろ口を開いてくれ  
ないかい?

Bさんがそつと見守つて  
いる。どう声をかけよう  
かと寄り添おうとしてい  
る。普段、二人を優しく

天地成行B・Cさん、C  
天地成行B・Cさん、C

天地成行C: お、おう。  
Bよ。すまんのお。おま  
え気づかんかったか?  
天地成行B: え、なんす  
か?  
天地成行C: わしらのス  
マホで「天地成行の彼女」つ  
てエゴサした? とあるか?  
Bよ。

天地成行B: そんなこと  
しませんよ。Cさんじゃ  
てエゴサした? とあるか?  
Bよ。

天地成行B: そんなこと  
しませんよ。Cさんじゃ  
てエゴサした? とあるか?  
Bよ。

(ひ)ひこと検索

天地成行B: はい。しま  
したけど、それがなにか?  
(二面につづく)

天地成行C・なら「動画タブ」にしてみろよ。

(二〇四)

天地成行B：あれつ、なんだこりや？ 「長澤まさみ」の動画だ。なんだろうね。

天地成行C・出ただろ！  
そんで元旦の芸能トツ  
ブニュースはなんだつた  
か覚えてるか？

天地成行B：あつ、長澤まさみさんが「SHOGUN 将軍」の映画監督の福永壮志さんと、ご結婚という超ビッグニュースがありました！ えつ、Cさん、もしや、「天地成行の彼女」として長澤まさみさんを本気で認識していくショックを受けていたの？

（うなづく）。体育座りのまま）

かつかつかつかー。

(C、次第にムカついて  
きてむくっと立ち上がり、  
おもむろにBを得意技の  
「じす」ー「」でつきと  
ばす)

天地成行C・ばかたれー、  
からの焼肉のたれー

天地威行B・いつて――。  
そして今生もやはりだ――。  
「ばかたれからのたれシ  
リーズ」。いつて。

天地成行（…わしゃー、  
続企足調感情障害なんじや、  
妄想をえさ）に生きている  
ふしもある。じやから、  
山崎まさよしの歌のよう  
に「ふいつでもさがして  
いるよー、どつかにきー  
みーのすがたをー」と向

かいのホームや路地裏の角、桜木でも探していたのだ。それなのに……。

（ナレーション）  
今年も、一人三役脳内会話「天地成行あり方委員会」を宜しくお願ひします。



その妄想ぶりは、チューリアル・徳井義実さんが、かつてのM-1決勝で披露したやつ並みだよー。まあ、いぢりはモノホンですが。(△も思わずくすぐすする)

次のコーナーは、急遽みんなにゆかりがある方に寄稿をお願いしました。その中でお忙しい中サクッと対応していただいた、東京都町田市のMさん、下関市の塩見直紀さん、日本赤十字社本社の横山瑞史

さん。このお三方の記事を「みんなに」紹介します。楽しかったり、勉強になつたり、さすがにいろんな経験と視座がござります。編集していく楽しい。これも「みんな」の魅力でしょう。

## 東京の地元・節目・能登半島地震対応の話

# みんなで分かち合おう

「地元の事」  
(東京都町田市・M)

私は、(ペンネームの通り) 東京都の南部に位置する町田市に住んでいます。サッカーJ1・町田ゼルビアの活躍でその名を知ったという方も多いと思うが、いわゆる多摩地区に属する自治体で、高度経済成長期に急激に都市化が進み、今では人口40万人を超えるそれなりに規模の大きな都市だ。ちなみに、横浜市と相模原市に隣接していることから、「マチダつて神奈川県だよね」という冗談をたまに耳にするが、実際、かつて神奈川県に属していた時代もある。

そんな町田で生活を始めて、今年で6年目になりますが、思った以上に地域活動が活発であることに驚かされます。「東京」と聞くと、大都会のイメージで地域の付き合いは希薄だと思われるかもしれませんのが、人口が多いことやあってか、お祭りや各種行事はそれなりに開催されています。例えば、近所の普段は静かな小さな神社でも、お正月の初詣では境内に長蛇の列ができ、お酒のふるまいなども行われる。

つい先日、子どもの転車の練習につきあって、恩田川(桜の名所で横浜市内で鶴見川に合流する)沿いをサイクリングして

いるときも、団地の公園でどんどん焼きが行われているのを目にした。開発が進んで周りを見渡せば近代的な住宅地ばかりのようにもみえるが、人との付き合いという点では農村らしさのようなものが残っている。そんなところに町田の生活の場としての魅力を感じているのは、私だけではないだろう。

①冬至＝昼間がいちばん短い12月のクリスマス頃もそんな1つです。陰極まれば陽となる、ですね。中国のある少数民族はこの日をお正月としているようです。

②大晦日～お正月。ふつうはこの日が最も大きなリセット日ですね。

③旧正月もそうです(今年は2月17日)。新月がスタートというのも現代人には逆に新鮮!

④節分～立春も大事です。真冬から春にかけての

時期は、ここに新たに再始動できるチャンスがいっぱい。数えてみたら、6つありました。順番にあげてみましょう。

7つあることになります。

◇ ◇ ◇

⑤昼と夜の長さがちょうど同じとなる春分。この日もとても大事にされま

すね。

⑥最後は年度の終わりと始まりの3月末～4月1日です。ちなみに私は4月4日が誕生日なので、

8つにどんなことでもいいので叶えたいことを書いてみてください(例、富士山登山、積読解消など)。

今年もいろいろ大変なことがあるかもしれませんのが、小さくとも希望の芽を探していけたらいいですね。希望の種をこの世に、地域にまいていきましょう。

「能登半島地震現場派遣でのこと」  
(日本赤十字社広報室  
(赤十字情報プラザ)・  
横山瑞史)

2024(令和6)年1月1日に発生した能登半島地震。定年退職を目指す前に控える私に緊急招集はなかつたが、仕事始めの4日に出社したとき、現場派遣はほぼ決まつていたようだ。元日からの24時間体制が続けば、遅かれ早かれ若手現役職員のやりくりは難しくなる。



看護師でアーティストの“二刀流”の池見陽子さんが2023年5月にカナダで個展をして、それを見学する地元の人たち

こんだつた。ちょっとした体育館ほどの広さがある板張りの床の部屋で、医師と避難者双方から取材の了解をとりつつ耳をそばだて、メモをとる。

このドクターは、自己紹介のあとほとんど体調や病状について質問しようとしない。いつまで世間話が続くのかと思った矢先、女性の声が涙声に変わり、徐々に激しく、大きくなる。ドクターは、ほとんど黙つたままその声に耳を傾けている。私はその場から離れる。余計な刺激を与えてはいけないと思ったから、といふのは後づけで、そこにいたはいけない、といつてはいけない、というより、いられない、と感じたから。ところが不思議なことに数分後、涙声は笑い声に変わつていつた。

最初の取材活動中の笑顔・笑い声は、受け取られ方・切り取られ方・次第で、不謹慎との批判を招きかねない。

20組以上の巡回診療を終えたドクターを追い、避難所の一角にある日赤救護班控室に入ると、今度はベテラン看護師長の声が……。

出発直前、上司から「避難所では決して笑わ

ないよう」との忠告を受けたが、それは言わず

ドクターが、看護師とともに巡回診療を始めると

所では、男性先となつた輪島市内の避難

な質問をし、そのあと私は気になつたことを追加で質問するほうが効果的なことが、ふたりの暗黙の了解事項になつていた。

「先生、笑わないでください！笑わせないでください！」

「「メン、「メン」を繰り返すドクターは日赤救護班のリーダーである。みんなにおやじギャグを仕掛けで笑わせようとしていたのだ。それはもう習慣になつていて、おいそれとはなおせないに違いない。

みんなにおやじギャグを仕掛けで笑わせようとしていたのだ。それはもう習慣になつていて、おいそれとはなおせないに違いない。

ひととおりの質問を終え、「横山さんから何かありますか？」のパスを受け、私は、「今日、わずかな時間で、先生の巡回診療の様子や控室でのやりとりを拝見してぜひお聞きしたいと思ったのですが、『笑い』というものに対する先生のお考えをお聞きたいだけないでしょ

うか？」とぶつけてみた。それならと「いつまででもお待ちしてます！」と最敬礼したところ、「やるな！」と一言残して次の患者のもとへ。

ドクターは、「「メン。カメラとめて……」と後ろを向き、しゃがみこんでしまつた。

15分後、もどつたドクターに、プロの外部委託カメラマン自らカメラを回しながら質問を始め、「ぼくは、笑顔が見たくて医者になつたんだ。ゴメン。」と一言。

数十秒の沈黙のあと、ドクターは立ち上がり、目を赤く腫らしながら、「ぼくは、笑顔が見たくて医者になつたんだ。ゴメン。」と一言。

インタビューを続けるうちに、私が全部聞くより、カメラマンがまず定型的な両手を強く握りしめた。

私は、無言でドクターの両手を強く握りしめた。

